

作成：平成30年11月14日

最終改訂：令和4年3月18日

整理番号 06178

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Coal Reference Material**  
石炭標準物質

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝2丁目13番4号 住友不動産芝ビル4号館		
製造者情報	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性： 特定標的臓器毒性（反復暴露） 区分 2

ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 長期又は反復暴露による臓器損傷のおそれ

注意書き

安全対策： ダスト、ミスト、ガス、フェーム、蒸気、スプレーの吸引を避ける。

応急措置： 気分が良くない場合は医師の診察を受ける。

保管： 混触危険物との接触を避ける。

廃棄： 内容物、容器の廃棄は国、地方自治体、国際規則に従って行う。

その他の情報：混合物成分の100%は急性経口毒性、急性経皮毒性、水生環境において未知の成分である

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	無煙炭	報告可能レベル以下のその他成分
成分及び含有量(wt%) *	90-100	<0.1
化学式又は構造式	未指定	
官報公示整理番号		
化審法	対象外	
安衛法	対象外	
P R T R 法	対象外	
C A S No.	8029-10-5	
国連番号及び国連分類	該当しない	

\* 特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、症状が深刻な場合は医師を呼ぶ。
皮膚に付着した場合	水、石鹼で洗い流す。炎症が悪化・継続する場合は医師の診察を受ける。
目に入った場合	目を洗う。炎症が悪化・継続する場合は医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。症状がある場合は医師の診察を受ける。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な兆候症状	長期暴露により慢性毒性のおそれ
医師に対する特別な 注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

### 5. 火災時の措置

消火剤	泡、ドライケミカル、CO <sub>2</sub> 、周辺の物質に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	水噴射をしない。火災を拡散するおそれがある。
火災時の特有の危険有害性	火災時、有害なガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
一般的な火災危険	異常な火災や爆発は予期されない。
特別な手法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。十分換気する。ダストの吸引を避ける。清掃時は適切な保護具、保護衣を着用する。SDS8項参照。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	掃き集め又は掃除機を用いて適切な容器に集めて廃棄する。廃棄物処理についてはSDS13項を参照。
環境に対する注意事項	環境への排出を避ける。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	専用の容器に入れてふたをし、換気の良い場所で保管する。混触危険物との接触を避ける(10項参照)

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)	暴露限界値は定められていない。
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分に喚起し、取り扱いや熱処理中に生成される恐れのあるダストやフェームの堆積を避ける。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	換気が不十分な場合適切な呼吸器を着用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	常に手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
形状	粉末
色	ダークブラウン、黒色
臭い	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可

可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

## 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送下では安定で反応性はない。
化学的安定度	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用下で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物との接触
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸入	呼吸器炎症のおそれ。
皮膚	皮膚接触による悪影響は予期されない。
眼	眼への直接接触は一時的な炎症のおそれ。
飲み込んだ場合	飲み込む可能性は低い。
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可

生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類されていない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期又は反復暴露による臓器損傷のおそれ。
誤えん有害性	入手不可

## 12. 環境影響情報

生態毒性	本製品の環境有害性は分類されていないが、多量または度重なる流出が悪影響を及ぼさないとは限らない。
残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の蓄積性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	本製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

## 14. 輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
消防法	非該当
化学物質の審査及び製造等の規	非該当

## 制に関する法律

化学物質排出把握管理促進法	非該当
国連番号	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
港則法	非該当

## 16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(101717) : LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、 作業場内の表示および安全データシート
	化学便覧 : 丸善
	職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 30 年 11 月 14 日

改訂：令和 4 年 3 月 18 日（法令見直し、2019 年版 JIS 対応）

- \* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
- 尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。